

採用の決め手は企業実習で見た「やる気」

カワダ株式会社(広島市安芸区) 武本 和彦さん 山田 大輔さん

無駄ではなかったデュアルシステム訓練

広島センターで実施している日本版デュアルシステム訓練「電気技術科」を平成17年12月に修了した武本和彦さんと山田大輔さんは、現在カワダ株式会社に勤務しています。

デュアルシステム訓練とは、これまでの職業訓練とは異なり、訓練施設で行う「施設内訓練」と、企業で行う「企業実習」を組み合わせることにより「実践力の付加」を目指した画期的な教育訓練システムです。

広島県では平成17年1月から広島センターで開講されており、武本さん、山田さんは、その第一期生です。両名は、1年間の訓練期間中に新しい知識と技能、技術を習得し、第二種電気工事士、第一種電気工事士、二級ボイラー技師、乙四類消防設備士の資格試験にも合格し、約1か月間に及ぶ就労型企業実習で、現場の「仕事」を経験しました。

その実習先は、現職場であるカワダ株式会社でした。実習時の状況を工務部長さんに伺うと、「現場では、訓練といえども利益を上げなければならない。彼らはそれを上げてくれた。最近の人は汚れることを嫌う傾向があるがそれを惜しまずやる気があった。」との言葉が返ってきました。

また両名は、デュアル訓練を振り返ってどうであったかの問いかけに、「企業実習で現場の仕事や、安全への意識等を知ることができたので就職したときに取り組みやすかった。資格が取れたことと企業実習を経験できたことが良かった。デュアル訓練は無駄ではなかった。」との答えが返ってきました。

一年間の訓練が、しっかりと生きていたようです。

大切なことは「やる気」

カワダ株式会社は、広島市南区に本社を置き、広島市安芸区および安芸郡府中町に工場を持つ従業員数462人の会社です。

創業50年以上の歴史を持つカワダ株式会社は、自動車の「重要保守部品」であるシャフトやブレーキドラム、



カワダ株式会社の
工務部部長さん(左)と
武本さん(中)、山田さん(右)



アーム類等数々の自動車足廻り部品を国内外へ提供し、信頼されるものづくりを行っています。

武本さん、山田さんが
製作した制御盤

両名は、工務部に所属し鍛造機等の製造機械の制御盤の製作、保守、整備の仕事に従事しています。「機械の種類が多く図面を理解することが大変です。先輩に付いて、とにかく一生懸命仕事を覚えています。」「毎日が精一杯。手当たり次第覚えていかないといけないし、自分もそうしていきたいと考えている。」と力強く話してくれました。

武本さんは今年、電気主任技術者の資格に挑戦するといいます。

二人の採用に関して人事・労務部部長さんが「現場の仕事はほとんどが一から覚えなければならない。訓練施設でのこととは違う。両名が企業実習のときに現場をどのように思ったか分からなかったが、とにかくやる気があったので採用した」とおっしゃるとおり、今なお二人は「やる気」に満ちており、このような「やる気」が企業の製造力に繋がるのだと思いました。